

製品名：SS-3（塗布用）

医薬用外毒物

本製品は、毒物及び劇物取締法による「毒物」に該当します。安全かつ効果的にご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。危険有害性情報につきましては、本製品のSDS（安全データシート）をご用意しておりますので、別途ご参照ください。

【本製品の目的】

オーステナイト系ステンレス表面の酸洗浄および溶接スケールの除去（SUS304,304L,316,316L等）

【使用上の注意】

●本製品の目的以外の用途には使用しないでください。

●次に該当する方は、絶対に使用しないでください。

未就業年齢の方

本剤を使用する業務に該当しない方

●次に該当する人は使用を極力避けてください。

化学薬品に敏感な方

妊娠中やその状態となるのに心当たりのある方

重大なケガや身体疾患のある方

●使用する際の装備、作業環境について

使用者は、必ず耐酸性の防護具を着用すること。

（ゴーグル、ガスマスク、手袋、エプロン、長靴等）

風通しの良い場所や換気が整った場所で使用すること。

タンク内などの閉鎖空間や、空気が滞留する場所での使用は、送風器やエアマスク等を使用してください。

風下側に人がいる場合は、退避させてください。

●次の症状が出た場合は、直ちに使用を中止し、応急処置を実施してください。また、必要に応じて医師の診断を受けてください。

部位 症状例

眼 充血、涙が止まらない

皮膚 発疹、発赤、黄変、刺すような痛み

呼吸器 息苦しさ、咳

神経 頭痛、めまい、気が遠くなる

循環器 胸の痛み、心拍数の変動

被液した場合は、直ちに大量の水で洗い流してください。

眼に入った場合は、コンタクトレンズを装着していて容易に取り外せる場合は直に取り外し、清浄な水で時間をかけて十分洗い流してください。

呼吸困難や胸の痛みは、清浄な風通しの良い涼しい場所で、

呼吸しやすい体制をとらせて、安静にさせてください。ただし、様態が急変することもあるので、被災者を一人にせず見守り、救急体制を整えておくこと。

※応急処置について

薬剤が身体に付着した場合は、直ちに被液した衣服を脱ぎ、清浄な水で時間をかけて十分洗い流してください。また、被液した衣服は、大量の水で薬液を洗い流した後、洗濯してください。また、フッ化水素薬傷に対してのみの対処方法として、被液した部分を十分洗浄した後にグルコン酸カルシウムゼリー（軟膏）を塗布することも有効な手段です。

【使用量、濃度】

処理範囲や洗浄除去具合などの条件により、使用量を増減してください。また、通常は薄めずそのままの濃度で使用してください。水など液体を大量に加えますと粘性が低下し、液ダレや効果具合が変わる等、作業性が変化します。本製品は、処理面に薄付けしますと刷毛目のムラが発生しやすくなりますので、メラミンフォームスポンジ等の目の細かいもので表面を均すか、厚塗りを推奨します。

※後記【薬液の塗布例】をご参照ください。

【容器の取扱方法】

バックインボックスタイプの製品の場合、中身を混ぜる時や、薬液を取り出す際には、内容器のみを直接取り扱おうと、場合によっては、内容器の自重崩壊や鋭利な物品等の接触で穴が開き、中身の飛び出しや漏洩する危険がありますので、内容器を外装箱から取り出さずに使用して下さい。薬液を混ぜるときは、必ずフタ（ねじ口）がしっかり閉まっていることを確認してください。緩んでいると薬液が飛び出す恐れがあり、危険です。

また、外装箱並びに内容器に過重が加わりますと、容器の潰れや破裂により薬液が飛び出す恐れがありますので、危険です。また、外装箱が水に濡れますと強度が極端に低下しますので注意してください。

【薬液の取出し方】

取出しに用いる容器は、塩ビ、ポリエチレン等樹脂製のものを使用してください。※樹脂の耐薬性をご確認ください。（硝酸、フッ化水素酸）

容器の内圧が高くなっている場合は、破裂や内フタの飛び出し、内容物の噴き出しの可能性がありますので、フタを少し緩め、あらかじめ内圧を逃がしてから開栓してください。

保管期間や保管状態により、成分が分離している場合がありますので、薬液を取り出す直前に、必ずフタを締めた状態で容器（バックインボックスタイプは外装箱ごと）をよく振り、薬液を混ぜてください。

フタの内側に薬液が付着していることがありますので、フタを開ける前に、フタ外側上部を軽く叩いて薬液を落としてください。

フタを開け、外装箱を傾けて薬液を小分け容器に出してください。容器の傾け方により、薬液の脈動による急な飛び出しが発生する場合がありますので、液跳ねには十分注意して取扱ってください。

送液ポンプ等で取り出す場合は、ポンプ等の取扱い方法に準じてください。

【薬液の使用方法】

- 薬液は開放空間に放置すると、成分劣化が進みますので、使用の都度、必ずフタを締めてください。
- 処理する部分は、あらかじめきれいに洗浄してください。油や粉塵、スパッタ付着防止剤などが付着している場合は、必ず除去して下さい。
- 柔らかめの耐酸刷毛等（金属を使用していないもの）で薬液を塗布してください。
- 薬液を取扱いやすい小分け容器に移し、刷毛等で薬液を適量とり、処理したい部分に塗りつけ、均一に塗り広げてください。
- 薬液がステンレス表面に接触した瞬間から反応が始まりますので、処理ムラをなくすために、素早く塗り上げてください。また、厚く塗りますと処理ムラが抑えられません。
- 薬液の反応速度は、温度や表面の状態により変化します。表面の状態変化を見ながら、処理時間を決めてください。予め、テストピースなどで、条件を決めておくことで作業が楽になります。
- 終了時間が来たら、水で薬液を洗い流してください。アルカリ性の中和剤を併用しますと、より効率的です。

【不動態化処理について】

本製品は硝酸をベースとした薬液で、ステンレス表面の不動態化にも寄与します。

なお、より確実な不動態化処理面が必要な場合や、本製品を使用後に処理面を研磨等の加工した場合は、さらに、別途、不動態化処理剤（当社製品 NN-100）をご使用下さい。

【容器の処分について】

容器を処分する場合は、素材ごとに分け、薬液が付着している部分を十分水洗いしてから廃棄してください。本製品の容器には、他の薬剤等を入れたりしないでください。薬品が化学反応してガス等が発生する場合があります。

【薬液の塗布例】

これら処理例は、処理ムラがなくなることを保証したものではありませんが、均一な処理面を簡単に得られる方法として提案します。いずれの方法も、作業は素早く行うことが肝心です。

①薄付け法（1層塗り）

薬液を適量処理部分に盛り、目の細かいスポンジ（メラミンフォーム、ポリエステル、ポリウレタン製）などで、塗り目がなくなるように、均一に塗り広げてください。

使用する薬液は最小で済みますが、薄くなりすぎると処理中に表面が乾燥してムラが出る場合があります。

（1）薬液を適量取る。



（2）目の細かいスポンジ等で塗り広げる



（3）塗り目がなくなるように仕上げる。



②厚盛り法（1層塗り）

薬液が多く必要ですが、最も簡単な方法です。

薬液を多めに取り、処理面に直接薬液を乗せてください。その後、盛った薬液を軽く押さえながら平らにならしてください。

(1) 薬液を多めに取る



(2) 刷毛で薬液を軽く押さええて処理面に広げる。



(3) 表面は凸凹になっても可です。



③厚塗り法（2層塗り）

薬液は少々多めに必要ですが、刷毛のみで作業できます。薬液を刷毛で適量取り、処理面に薄く塗り広げてください。その直後にさらに薬液を適量盛り刷毛で薬液を軽く押さえながら平らにならしてください。この時、薄くなりすぎないようにしてください。

(1) 薬液を刷毛に少量取り、



(2) 薄く塗り広げます。(刷毛目が出てても良い)



(3) 続いて、薬液を適量盛る。



(4) 刷毛で薬液を軽く押さええて処理面に広げる。



(5) 表面は凸凹になっても可です。



【廃液処理方法】

本製品は硝酸、フッ化水素酸を含む製品です。廃液を下水道や河川に放流する場合は、所管自治体等の排水基準に適合しなければなりません。あらかじめ関係地域の排水基準を確認してください。

本製品の廃液および洗浄廃液は、水酸化カルシウム水溶液（液またはスラリー状）を pH 変化に注意しながら混合すると、硝酸イオンやフッ化物イオン等陰イオンが難溶性カルシウム塩となり、沈殿分離が容易になります。

排水基準に適合したことを確認の上、上澄み液を放流し、残った沈殿物は産業廃棄物として処分してください。

当社では、スラリー状の水酸化カルシウム水溶液（当社製品 中和剤）を取扱っております。

【薬液の保管について】

容器の取り出し口付近（内蓋やネジ部）に付着した薬液は、水拭きなどできれいに拭き取り、密栓してください。薬液が付着したままですと、残留薬液が液状化やガス化して周囲の金属やガラスを腐食する恐れがあります。

容器をポリエチレン製ビニール袋に入れ、袋の口を閉じておくと、より安全です。

医薬用外毒物に該当しますので、鍵のかかる冷暗所に保管してください。

また、保管状況や保管期間の長期化により、薬液から放出するガス成分で容器の内圧が高まる場合があります。そのような場合は、開栓時にガスや薬液が噴出することがありますので、十分注意してください。

このようなリスクを避けるために、必要以上の保管をせず、可能な限り短い期間で使い切ることを推奨します。

【当社製品ラインナップ】

用途に応じて下記製品を製造しています。

●オーステナイト系ステンレス酸洗剤

SS-3（塗布型）

SS-3（スプレー型）

FSUS-5（浸漬型）

●不動態化処理剤

NN-100（用途別に、塗布型・スプレー型・浸漬型）

●鉄鋼用スケール除去剤

FC-1

●引抜鋼管製造用減摩剤

FF-10

●鉄鋼用防錆剤

IM-100

●強力脱脂洗浄剤

トリロン B

●酸洗剤用中和剤

中和剤

【問い合わせ窓口】

株式会社クライミング（新宮事業所）

福岡県糟屋郡新宮町上府北 3 丁目 8 番 17 号

●販売に関するお問い合わせは、

営業部

TEL 092-962-1011（代） FAX092-962-1031

●製造・技術的な内容に関するお問い合わせは、

新宮事業所 薬品製造課

TEL 092-962-4166（代） FAX092-962-4243